

視野を広める人材づくり



豊かな発想とグローバルな視点を育成することを目的とし『村づくりは人づくり』の考えから、台湾鹿谷郷との国際交流や中学2年生の国内研修を実施しています。

本村と台湾鹿谷郷とは、昭和63年5月の姉妹都市提携以来、「玉川村日華親善友好都市提携推進協議会」を組織して、平成7年度までに多くの村民が派遣大使として訪問しています。

平成9年以降『スポーツ交流』を主軸におき、隔年において小学生を親善大使として派遣。平成10年3月には須釜小学校四辻分校の3年生以上13名、並びに教職員と保護者の20名が一輪車の普及と指導をかねてホームステイするという初めての試みを行いました。

台湾大地震では早急に職員を慰問派遣して、帰国後は地元老人クラブや小学生からの激励文集を送付したり、村民に義援金を募りました。

国際社会にふさわしい人材を育成するため、今後も台湾鹿谷郷との友好関係を深めていきます。



台湾鹿谷郷とのスポーツ交流

さらに中学生を対象とした国内研修事業では平成2年度から「ふるさと創生事業」として、夏休みを利用して「北海道研修」を実施しています。

生まれて初めて飛行機に搭乗し、豊かで広大な北の大地のぬくもりを心と身体でじかに感じることは、中学生時代の大きな経験のひとつになっています。旅先で多くの人々と出会い、学習し、思い出をつくって帰路につく頃には、子どもたちの表情も少し大人びていることに気付きます。

21世紀を担う子どもたちには、少しでも多くの体験学習をさせることは、将来の村の活性化につながると考えています。



北海道研修旅行の風景

